

1 主題名 人にやさしく
(資料名 「レフトレフト」 2-2 思いやり 親切)

2 ねらい ・相手の気持ちを思いやり 親切にしようとする心情を育てる。

3 指導にあたって

本主題の基礎・基本について

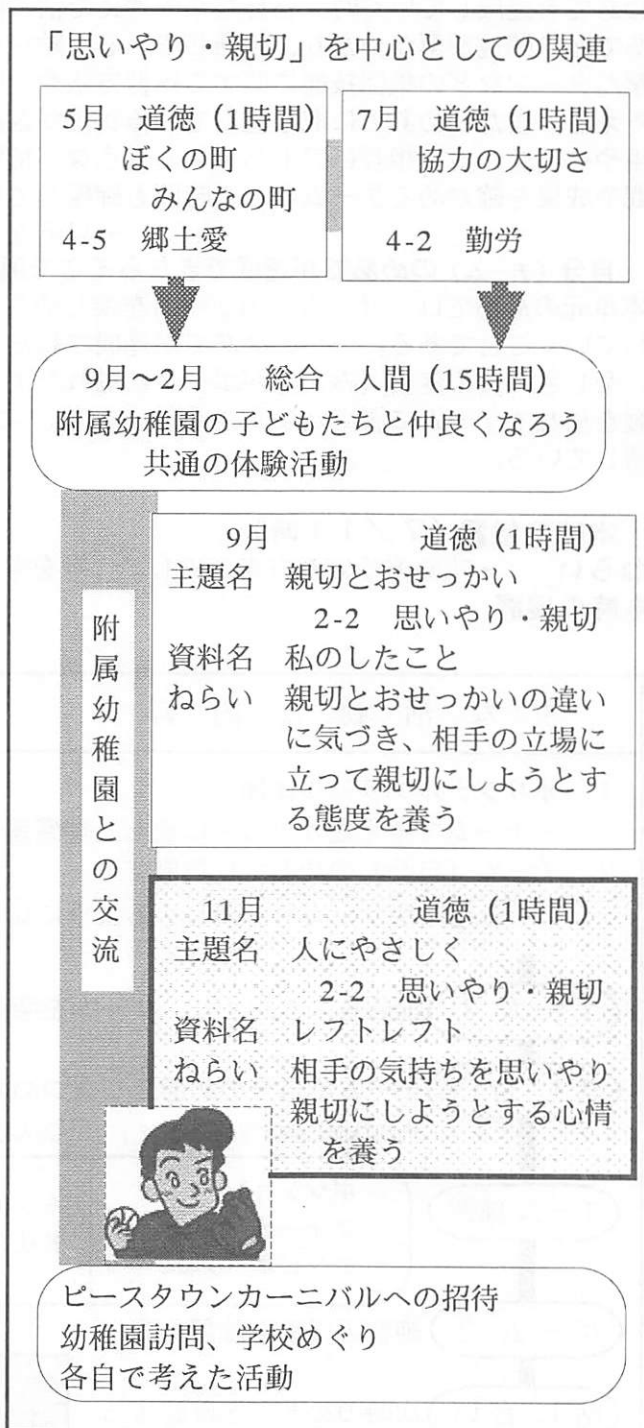
人間は常に周囲のたくさんの人とかかわりながら生きている。そうした中で、相手の心をおしはかりながら、共感的に心かよわせることが「思いやり」である。それは単に相手に対してのかわいそう、哀れみの心ではなく、相手の立場や気持ちを考えた行動から生まれてくるものでなければならない。そのような行為こそが、「親切」であり思いやりの自覚のあらわれである。

自己中心的な言動が目立ち、人とかかわりがうまくいかなくなったり、相手のことを思いやるのが少なくなってきた子ども達に、相手を思いやる心、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てていくことは大切なことであると考えこの主題を設定していった。

この学習を想定するにあたり、子ども達は、共通の体験として「幼稚園訪問」を行った。この体験活動の中で、ある者は三歳の幼児に泣かれ、また、ある者は心を通わすことに苦労もした。特に自分の気持ちをうまく表現できない幼い者に対しては、自分の打算や利害を越えて、深く相手の胸の内を察し、理解しながら、優しい気持ちで手を差し伸べていくことが大切になってくることを体験した。

そのような体験をもとに、本資料の「レフトレフト」を考えさせていきたい。野球がしたくて来た小さい子を傷つけずに、仲間に入れてあげようという六年生の精一杯の思いや、小さい子の満たされた思いを感じとってくれればと願っている。

学習にあたっては、思いやりの行為自体の素晴らしさを認めていくことは大切になるが、その行為に至るまでの心の揺れや迷いも感じとらせていきたい。「どうにでもなれ面倒だ」といった自分自身の弱さ、投げ遣りの気持ちなども感じながら、自己の内面を見つめていくことが本主題につながる基礎・基本ととらえている。



学びを広げ深めるために

① 体験の様子を想起させながら資料を提示する

デジタルカメラの映像を使い幼稚園訪問の様子を見せることで、本時の資料に対する興味を持たせたり、自分の体験と重ね合わせ、資料を身近なものとして捉えさせていきたい。

→身近な出来事として捉える姿

② 価値葛藤の場の中で自分なりの考えを持つことができる

資料の六年生の行動を考えながら、自分たちだったらこのような行動をとることができたのだろうか。それとも、小さい子だから「いいや」「適当に」といった考えがなかったかどうかなど自分の体験から、その時の思いを考えたりしていく場を設ける。

→幼い子について考えていく姿

③ 幼稚園の先生からの手紙を聞くことにより自己の価値観を認識する場を設ける

幼稚園の先生からの手紙を聞くことにより、小さな子どもの思いや喜びを知ったり、自分はどんな思いで小さな子どもたちと接してきたのかをもう一度考えてみる。

→自分を振り返って考える姿

④ 幼稚園訪問の体験を取り入れた道徳の時間を計画する

資料にでてくる人物の気持ちや価値に対する考え方を自分たちが体験した幼稚園訪問の時の似たような気持ちと重ね合わせることにより、自分の問題として受けとめる場を作っていく。

→これからの自分の問題として感じる姿

4 学習の展開

主 な 活 動 と 内 容	教 師 の 働 き か け
<p>1 幼稚園訪問について振り返る</p> <p>かわいかったよ わがままで 泣いてしまった</p> <p>2 資料『レフトレフト』を読んで 6年生と小さい子どもの気持ちについて話し合う</p> <p>○6年生はコウちゃんに「レフトレフト」と言うまでにどんなことを考えていたでしょう</p> <p>困ったな 泣かれると困るな どうして来るんだ 人数が足りているのに 入れてあげないと かわいそうかな</p> <p>◎「レフトレフト」と言われた時 コウちゃんはどんな気持ちで走り出したでしょう</p> <p>ぼく頑張るぞ よかった入れてもらえて 僕もお兄ちゃんたちと 同じ選手だ ありがとう</p>	<p>・幼稚園訪問の映像を見て体験時の行動や気持ちを想起させながら資料に入る</p> <p>・小さい子の行動に困惑する6年生の思いを取り上げていく</p>
<p>3 年下の子に対する接し方を振り返る</p> <p>○幼稚園訪問の時 どのような気持ちで小さい子に接していましたか</p> <p>けがさせない 泣かさない いうことを聞かす</p>	<p>・体験での自分の行為や気持ちを見つめていく場を設ける</p> <p>・園児の思いなどを手紙にして幼稚園の先生に読んでもらい次の行動への意欲付けをはかる【幼・小連携】</p>
<p>4 幼稚園の先生のお手紙を聞く</p> <p>次に行く時は小さい子のことも考えてみよう</p>	

